

第六十四回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第八號

昭和八年三月二十二日(水曜日)午前十時
十八分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ是ヨ

リ委員會ヲ開會イタシマス、主計局長ガ今
ニ見エラレル等デゴザイマスカラ、大藏省
當局ニ對スル質問ハ後ニ願ヒマス、其外ノ
コトデゴザイマスレバ……

○子爵大河内輝耕君 此前ノ時ニ經費ノ分
類ヲ伺フテ、ソレキリニナッテ居ルノテスガ、
尙ホ重ネテソレヲ伺ヒタイノデスガ、文官
ハ判任官、高等官ニ分ケテ幾ラニナッテ居
リマスカ、尙ホ陸軍、海軍ニ付テモ其區別
ヲ伺ヒタイ

○政府委員(樺貝詮三君) 普通恩給増加恩
給ノ御尋カト此前存ジテ居リマシテ、其表
ハ差上ゲタヤウニ思ヒマシタデスガ、マダ
デゴザイマセウカ、此細長イ斯ウ云フ表デ
ゴザイマス、差上ゲタヤウニ思ヒテ居リマシ
タガ、縦ニ長イ表デゴザイマス、扶助料ノ
方ノ分ガ後ニ付イテ居リマス、前ノ方ガ普
通恩給ト増加恩給ノ分デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレナラ大體此表デ
ソレハ認メテ置キマス、ソレカラ説明ノ便
宜上簡單ニ伺フテ置ケバ宜シイノデスガ、文

第四部第一八類 恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第八號・昭和八年三月二十二日

官ノ方ニ付キマシテハ、現行法ハ十五箇年
經テバ貰ヘル、ソレカラ相當ニ年限ガ長ク

ナルニ從フテ加算モサレテ行クト云フコト
ハ承知シテ居リマスガ、其外ニ何カ文官ノ
方ニ……ソレ以外ニ於テ特例ガゴザイマス
レバ、簡單ニ御説明願ヒタイ、成ルベクナ
ラ條文ヲ引イテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(樺貝詮三君) 文官ノ方ノ特例
ト申シマスレバ……失禮デスガドンナ御趣
旨デゴザイマセウカ、此今度ノ改正案デ文
官ノ方ヘノ特例ト云フ御趣旨デゴザイマセ
ウカ

○子爵大河内輝耕君 只今申スノハ現行法
ヲ申スノデアリマス、武官ノ方ニ付テハ色
色傷病ダトカ何トカ云フヤウナ、或ハ航海
加給トカ何トカ色ミナコトガアルヤウデス
ガ、サウ云フヤウナ特例ガ文官ニアルカト
云フノデス

○政府委員(樺貝詮三君) 文官ノ方ニ於キ
マシテハ軍人ノヤウニ利益ノ方面ニ餘リ特
例ガゴザイマセヌノデ、不利益ノ方ノ特例
ハ納金ナドゴザイマスガ、別ニ文官ニアル
ヤウナ加算其他ノモノハ、同じ事情ガアレ
バ、總テ軍人ノ方ニハアリマスカラ、今思

ヒ出シマシテモ、特ニ文官ノ方ニ著シイ特
例ト云フモノヲチョット思ヒ出セマセヌデ
ス

○子爵大河内輝耕君 ソンナラバ、文官ノ
方ハソレト致シマシテ、武官ノ方ノ特例ヲ
簡單ニ御話願ヒタイ

○政府委員(樺貝詮三君) 武官ト申シマセ
ウカ、軍人全般ニ互リマシテハ此公務傷病
ニ依リマシテノ増加恩給ト云フモノガ給與
ヲサレルコトニナッテ居リマスガ、是ハ法文
ノ上ニ於キマシテハ軍人デモソレカラ文官
デモ同様デアリマスガ、實質ニ於キマシテ、
之ヲ受クル者ノ大部分ハ軍人デアルト云フ
コトニナリマスノデ、實際問題ト致シマシ
テハ、軍人ノ爲ノ優遇ト申シマセウカ、特
殊性ト申シマセウカ、サウ云フ風ニ看做シ
得ル一ツニナリマスガ、法文ノ上デハ是ハ
全ク同じ平等ナ立場ニ置カレテアリマス
唯……

〔子爵大河内輝耕君〕法文ハドコニアリ
マスカ、何條ニ……ト述フ

四十六條ガ増加恩給デゴザイマシテ、「公務
員公務ノ爲傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ」云
云ト云フヤウニ致シマシテ公務員全部ニ

互テ居リマスカラ、法ノ上ニ於キマシテハ
總テノ公務員ガ平等ノコトニナッテ居リマ
スガ、之ニ基キマシテ附表ノ第二號表ト云
フモノガ……是ハ差上ゲマシタ此恩給法規

ノ條文ニハ十九頁ニ當リマスガ、其第二號
表ニ増加恩給ガゴザイマスガ、其内甲號、
乙號ト云フ二種ニ分ケラレテアリマシテ、
甲號ノ「戰鬪又ハ戰鬪ニ準スヘキ公務」ト云
フモノニ付テハ普通ノ公務……其他ノ公務
ニ依ル場合ヨリカモ多額ノ給與ヲ致シテ居
リマス、ソレカラ隨テ戰鬪トカ戰鬪ニ準
ズベキ公務ト申シマスルト、巡查ナドノ例
ノ兇賊逮捕ナドニ行キマスノハ、是ハ這
入り得マスケレドモ、増加恩給ニナル
程度ノモノハ非常ニ少ナイノデゴザイ
マシテ、大部分ハ是ハ軍人ニナリマス
カラ、戰爭ヘ參リマシタヤウナ軍人ハ皆此
甲號ニ參ル譯デ、實際問題ト致シマシテハ
甲號ノ多額ノ給與ヲ受ケマスノハ軍人デア
ルト云フヤウニ、實質的ニハナッテ居リマ
ス、又恩給金額ニ付キマシテハ同じ別表ノ
第一號表ノ准士官以下ノ者ニ給スル金額ナ
ドハ、文官カラ比較イタシマシテハ皆割ガ
ズツト良クナッテ參リマス、將校ニ致シマシ

テモ、少佐以上位ハ實際ノ俸給トソレカラ此表デ考ヘテ居ル假ノ俸給トガ略、一致イタシテ居リマスケレドモ、ソレ以下ニ行キマシテハ、假ニ考ヘテ居リマスル俸給ハ……恩給額ニ見マス爲ノ俸給ハ、文官ノヤウニ實額デアリマセヌデ、想像上ノ……實額ヨリズト高イ俸給ヲ考ヘテ、ソレニ文官ト同ジ率ノ恩給ヲ盛ルコトニ致シテ居リマスカラ、ココラハ非常ニ下ノ方ハ實際ノ收入トソレカラ恩給トノ割合ガ、軍人ノ方ガ良イト云フコトニナッテ居リマスノデス、尙ホ加算……恩給年ノ加算ト云フモノガアリマスガ、三十二條以下ニ規定ガゴザイマスガ、ソレ等ノ從軍加算或ハ三十五條ノ外國鎮戍ノ加算……外國鎮戍ト云フノハ是ハ軍人以外ニハ殆ドゴザイマセヌカラ、……或ハ今回作リマスル所ノ艦隊加算、又三十七條ニアリマスル潛水艦ノ加算ト云フヤウナノハ、軍人ダケニ認メラレル加算デアリマシテ、是ガ結局恩給金額ヲ大キクスルトニ作用ヲ致シテ居ル譯デアリマス、各個ノ恩給額ヲ……、デ先程文官方面ノ特殊性質……ドウモ大シタ特殊性モ思ヒ出セヌト申シマシタノデアリマスガ、小サイ所ヲ申シマスルト、學校職員ナドニ付テ特別ノ加給ト云フモノガアリマスノデアリマ

ス、例ヘバ六十二條ノ第三項ニ「前項ノ場合ニ於テ其ノ在職中ニ小學校、實業補習學校、幼稚園又ハ盲啞學校其ノ他ノ小學校ニ類スル各種學校ノ教育職員トシテノ勤続在職年十五年以上ヲ含ムトキハ其ノ勤続在職年中十五年ヲ控除シタル殘ノ勤続在職年一ニ付退職當時ノ俸給年額ノ百五十分ノ一ノ割合ヲ以テ之ニ加給ス」トアル、是ハ十五年以上、例ヘバ二十年勤続イタシマスト、其五年分ニ付テ俸給百五十分ノ一ノ割合ヲ以テ之ニ金額ヲ加ヘテヤルト云フ規定デアリマスガ、一般文官ニハ斯ウ云フモノハアリマセヌノデ、是ハ大正十二年ニ現行法ヲ改正イタシマシタ時ニ、ソレ迄存シテ居タ小學校教員ノ爲ニ恩給ノ額ヲ減ラサナイ爲ニ、ソレ迄取ラレマシタノト同ジヤウナ所ニナル爲ニ斯ウ云フ規定ヲ置キマシタヤウナ譯デ、文官ニハゴザイマセヌ、其外ニ於キマシテ大體文官ニ認メラレルヤウナ事柄ハ、軍人ニアル限りハ……事柄ガアル限りハ全部認メテアリマスカラ、文官ノ爲ニ、チヨット思ヒ出セマセヌガ、軍人ニハ尙ホ其外ニモ、例ヘバ著シイノハ、年數ガ短クテ恩給ニナルト云フヤウナハ殊ニ顯著ナモノニナッテ居リマス

○塚本清治君 大藏當局ニ御伺ヒ致シタイノデスガ、此恩給法改正案ガ、現行法ニ於ケル恩給支給上ニ缺點アルコトヲ認メラレ、又所謂恩給亡國ノ數キサヘモ世間ニ傳ヘラレルト云フ折柄、現行法中ノ色ミノ不合理ナ點ヲ整理シ、併セテ恩給支給總額ノ年次累増スルト云フコトヲ防グト云フ趣旨ノ下ニ、改正案ヲ提出サレト承知イタシテ居ルノデアリマスガ、其恩給總額ガ年々累増スルコトヲ阻止セムトスル其趣旨ニ適フベキ、或ハ恩給ヲ受クル資格ヲ獲得スル年限ノ延長、其他ノ點ニ於テ、改正案ハ整理ヲ或ハ改正ヲ圖ツテ居ラレルノデアリマスガ、是カラ生ズル恩給増額ヲ阻止スルコトヲ計數的ニ大藏當局カラ説明ヲ煩シタイ

○政府委員(藤井真信君) 御答ヲ申上ゲマス、只今御尋ノ御言葉ニアリマシタ如ク、今回ノ恩給法ノ改正案ヲ作リマシタ趣旨ハ、一方ニ於テ現在ノ制度ノ下ニ改正ヲ要スル不備ノ點ヲ直シマス同時ニ、財政上ノ現在ノ狀況ニ鑑ミマシテ、成ルベク恩給ニ關スル國庫ノ負擔ヲ多ク致サナイヤウニ、殊ニ今後恩給ガ毎年遞増イタシテ參リマシテ、將來國庫ノ恩給ニ依ル負擔ガ著シク増スベキ傾向ヲ、出來ルナラバ之ヲ阻止イタシタイ、斯様ナ趣旨デ立案ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、見方ニ依レバ今回ノ改正案ハ尙ホ徹底ヲ缺クト云フ議リモアラウカト思フノデアリマスガ、此恩給其他給料ニ關スル制度ノ改正ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク徹底的ニ改正ヲ致スコトガ甚ダ困難デアリマスノデ、只今ノ所此改正案ノ程度ヲ以テ適當ナルモノト考ヘテ提案ヲ致シタ次第デアリマス、御承知ノ如ク此恩給ノ改正案ニ付キマシテハ、歷代ノ内閣ニ於テ屢、計畫ヲ致サレテ居タノデアリマスガ、中、困難デアリマシテ、各方面ニ影響スル所ガ廣イモノデアリマスカラ、容易ニ政府部内ニ於テモ意見ノ一致ヲ見ルコトガ困難デアッタノデアリマスガ、幸ニ今回ノ此提案ハ大體ニ於テ政府内ニ於キマシテモ、其各方面トモ妥當ナモノグラウト云フコトニ意見ノ一致ヲ見マシテ、此提案ヲスル運ビニナッタノデアリマス、改正ノ各條項ニ關スル計數的ノ調査ハ、實ハ甚ダ困難デアリマシテ、正確ナコトヲ申上グルコトハ非常ニ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、併シ勿論改正ヲ致シマス場合ニ計數上ノ調査ヲ致スベキハ當然デアリマシテ、私共大藏省ニ於テモ一應調査ハ致シテ居ルノデアリマスガ、大體ニ於キマシテ、今度改正案ヲ實施イタシマシタ結果、八年度ノ豫算ニ對シテハ幾ラカ減少イタサウカト思

フノデアリマスガ、只今ノ見込デハ、十萬圓前後ノ恩給豫算ノ減少ヲ見ヤウト思フテ居リマスガ、其程度デアリマスノデ、八年度ノ豫算ニ及ボス影響ハ大シタコトハナイト御承知ヲ願フテ宜シイカト思フノデアリマス、サウシテ、此改正案ガ實施サレマシテ、完全ニ總テノ恩給ヲ受クル人ニ此改正案ガ適用サレルコトナリマシタ後ニ於キマシテハ、我々ハ平年度ト云フ言葉ヲ使フテ居リマスガ、此改正案ニ伴フ平年度ノ財政上ノ影響カラ申シマスナラバ、恩給豫算ノ上ニ於テ大體五百萬圓前後ノ減額ヲ見ヤウト考ヘテ居リマス、勿論此恩給豫算ノ外ニ、恩給ニ關係イタシマシテ、殊ニ此改正案ノ中ニ含マレテ居リマス陸海軍省ニ於ケル傷病兵ニ對スル賜金ノ加算ヲ、昭和七年度、八年度ハ御協賛ヲ得テ臨時陸海軍省ノ經費ノ中ニ這入テ居ルノデアリマスガ、此金額約百八十萬圓許リアリマスガ、今回ノ改正案ノ御協賛ヲ經タ後ニ於キマシテハ、此陸海軍兩省ノ臨時經費ヲ見テ居リマスル傷病賜金百八十萬圓ト云フモノハ、不用ニナツテ參リマシテ、ソレガ恩給ニ變テ參リマシテ、其方面ニ於テ百八十萬圓ノ豫算ノ不用ヲ生ジテ參リマスノト、尙ホ一方ニ於キマシテハ、此改正案ニ伴フテ歳入ノ方ニ

於テノ納付金ノ増額イタスモノガアリマスガ、是モ平年度ニナリマスレバ一般會計ニ於テ約二百五十萬圓、特別會計ニ於テ約八十餘萬圓、合計一般會計、特別會計ヲ通ジマシテ、納付金ノ増加スルモノガ平年度ニ於テ三百四十萬圓程度ノ歳入ノ増加ガアルト見込デ居リマス、從テ一般會計ノ關係カラ申シマシタナラバ、此恩給法ノ改正ノ結果、平年度ニ於テ恩給豫算ニ於テ約五百萬圓ノ減少ガアリ、尙ホ其外ニ百八十萬圓ノ傷病賜金ノ不用ナルモノガアリ、其外ニ歳入ニ於テ二百五十萬圓ノ増加スルモノガアルト云フコトデ、是等ヲ通計イタシマスト、大體九百萬餘圓ノ國庫ノ負擔ヲ減少スルコトニナラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○塚本清治君 只今ノ御説明ノ平年度トハ、イツ到來スルノデアリマスカ

○政府委員(藤井真信君) 恩給法ノ關係ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク恩給年限ノ延長ヲ、十五年ガ十七年ト云フコトニナツテ居リマスノデ、完全ニ平年度ニナリマスノニハ、矢張り其年數ヲ經過シタ後ニナルト云フコトデアラウト思ヒマス、納付金ノ關係ニ於キマシテハ、是ハ見方ガ色ミアルヤウデアリマスルガ、此改正案ニ依リマスレ

バ、昇給ヲ致シマシタナラバ、其月カラ掛カル、斯ウ致シテ居リマスノデ、現在勤メテ居リマス人達ガイツニナツタラ完全ニ一度昇給スルカト云フ、斯ウ云フ見方ニ依ルノデゴザイマスガ、少クとも五年乃至七年ハ掛カラウカト思フノデアリマスガ、只今申上ゲマシタコトハ、全體ヲ通ジテ平年度ハイツニナルカト云フコトヲ御答ヘ致ストシマスレバ、矢張り十七年後ニナル、斯様ニ御了解ヲ得タイト思ヒマス

○塚本清治君 十七年後ハ平年度ガ到來スルト致シマシテ、サウシテ其先ハ年額五百萬圓位ノ國民ノ負擔輕減ニナル計算ノ由テ來ル所ハ、今日以後退官、退職スル者ノ數ハ從來ノ數ト略、同ジト見テ計算ヲセラフルノデアリマスカ、今後ノ退官退職者ノ趨勢ト云フモノヲドウ云フ風ニ御想像ニナツテノ算出デアリマセウカ

○政府委員(樋貝詮三君) 其數ニ付キマシテハ、恩給局ノ方デ見込ミマシタノヲ、主計局ノ大藏省ノ方ヘ廻シマシタヤウナ譯デゴザイマスカラ、私カラ御答申上ゲタイト思ヒマスガ、ソレハ百分ノ二・五位ハ人ガ段々増シテ行キ、退官者ガ普通ニ行キマスレバ増シテ行クダラウト云フコトヲ豫想ニ置キマシテ、サウシテ計算ヲ致シタノデアリマ

ス、唯現在ノ數ダケデソレデ數字ヲ押通シテ行クダラウト云フ風ニハ見込デ置キマセヌデシタ

○塚本清治君 只今ノハヨク了解シ切レマセヌデシタガ、例ヘバ一年間ニ判任官、奏任官、勅任官各階級ニ付テ百人ニ付テ二人トカ、三人若干退職ガアルトスレバ、今後モ矢張り同率ノ退官退職スル者ガアルトシテノ御計算デアリマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 率ハ大體率ソノモノトシテ同ジデアリマス、唯公務員ノ絶對數ガ増シマスカラ、從テ同ジ率ニシテモ人ノ數ガ増シ、金額ガ増ス、斯ウ云フ風ニ見込ミマシタノデアリマス

○塚本清治君 從來ト申ス中ノ近年ノ公務員ノ退官、退職ト云フモノハ、政黨内閣ノ爲ニ、其更迭ニ依ツテ官吏ガ頻々異動シタ、斯様ナ計數ハ將來ノ内閣ニ於テモ矢張り同様ニ發生スルモノト御計算ニナツタノデアリマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 大體、今ノハ七年バカリヲ平均ニ取リマシテ、サウシテ見込ミマシタノデアリマシテ、或ハ將來幾ラカ減ルカモ知レマセヌデゴザイマスケレドモ、又一方ニ於キマシテハ又行政整理ヲシナケレバナラナイト云フ聲モ聞イテ居リマ

スノデ、平時ニ於キマシテハ、實ハ大シタコトハアリマセヌガ、一番多イノハ行政整理……大袈裟ニヤリマス行政整理ノ時ニハ何時モ屹ト多クナリマスノデ、又行政整理モ其中ニヤルノデハナйкаト云フヤウナコトモ考ヘラレマスカラ、大體、七年位ノ豫算ノ平均ヲ將來ノ豫想ニ援用シタナラバ宜カラウト云フコトヲ考ヘテ、其見込デ以テヤンテ參リマシタ

○塚本清治君 サウ致シマスト云フト、大藏當局ガ所謂平年度ガ到來スレバ五百萬圓減ズルト云フ結果ヲ豫想セラレルノハ、總テ只今恩給局長ガ説明セラレタ材料ヲ條件トシテノ算出ノ結果デアリマスガ、念ノ爲ニ確メテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(藤井真信君) 實ハ今外ノコトヲ相談イタシテ居リマシテ、今恩給局長ノ御答ヘ致シタコトヲ完全ニ聽イテ居ラナカッタノデアリマスガ、大體此計數ヲ出シマス場合ニ恩給局ト相談ヲ致シテ居リマスルノデ、政府部内ニ於キマスル大藏當局ノ見方ト恩給局ノ見方ニ根本的ノ差ノアルベキ筈ハナイノデアリマス、大體ニ於テ打合せノ結果計數ヲ出シテ居ルモノト御承知ヲ願ヒマス

○塚本清治君 大藏當局トシテ所謂平年度

ハ十七八年後ニ到來スル、平年度ニ至テ漸ク五百萬圓ノ減額シカ見ナイ、勿論殖エルノヲ阻止シテ尙ホ且ツ減額デハアリマセウケレドモ、併シ一億四千萬圓ニ上テ居ル此恩給額ノ、財政ノ上ニ及ボス重壓、之ヲ遠イ將來ト云フベキ十七八年後ニ僅ニ五百萬圓ヲ減ズルコトヲ以テ満足セラレルノデアリマスガ、如何ニモ其恩給額ノ國庫歲計全體ニ對スルコトカラ云テ非常ニ大キイ、ソレヲモット財政ノ上ノ負擔ヲ輕クスルト云フ方策ヲ御講ジニナラナイノハ、ドウ云フ譯ナンデセウカ、無論恩給局ノ今ノ調べニ依ッテ算出セラレタノデアリマセウケレドモ、我ミカラ考ヘテ居ル所ヲ忌憚ナク言ヘバ、大藏當局ニ於テ、モットサウ云フ點ニ於テ自ラ調査モサレ研究モ進メラレテ、相當財政上ノ負擔ヲ免レル、財政上ノ負擔ヲ輕クセラレルコトニ思フ致サナケレバナラヌカノヤウニ思フノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○政府委員(藤井真信君) 御尤デアリマシテ、大藏省ノ當局ト致シマシテハ、出來ル限り國庫ノ負擔ヲ合理的ニ減少スルコトニ努力ヲ致サナケレバナラヌコトハ、申ス迄モナイコトデアリマス、實ハ甚ダ至ラヌ勝チデアリマスガ、是等ノ點ニ付テモ相當ニ

調査研究ヲ進メテ參、タノデアリマス、只今仰セノ如ク、今回ノ提案ニ依ッテ十數年後ニナッテノ僅カ五百萬圓ノ恩給額ノ負擔ノ減額ナルモノハ何ニモナラナイノデハナイカ、五百萬圓ノ此減額ニ依ッテ生ズル原因ハ基礎年限ノ變更ト基礎係給ノ變更ト、此點ニアルノデアリマシテ、若シ國庫ノ負擔ヲ更ニ一層大イニ減額シヤウト致シマスナラバ、ドウシテモ恩給年限ヲ更ニ一層變更イタシ、尙ホソレヲ徹底的ニ致シマシテ、國庫ノ負擔ヲ減ラサウト考ヘマスナラバ、現在恩給ヲ受ケテ居ル人ニ對シテマデ改正案ヲ適用スル、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスナラバ、國庫ノ負擔ヲ減額スベキ趣旨ニ於ケル恩給改正ヲ、現在ノ受給者ニマデ遡及スルト云フコトニマデ行カナケレバ徹底シナイカト思フノデアリマス、併シ是ハ非常ニ困難ナコトデアリマシテ、既得權ヲ動カスコトノ譲リヲ受ケルコトニナリマシテ、實行上非常ニ困難デアリマス、少クトモ其點マデ行カヌニシテモ、今ノ恩給年限ヲ少シ延長シタラバ宜イデヤナイカ、普通文官十五年ヲ十七年ニスルト云フコトヲ止メテ、二十年ナリ二十五年ニシタラバ宜イデヤナイカト云フコトモ一ツノ議論デアリマシテ、嘗テサウ云フ案ヲ作ッタコトモアルノデア

リマス、今回ノ改正案ノ立案ニ當リマシテモ、大藏省側ノ我ミノ希望ト致シマシテハ、出來ルダケサウ云フ方面ノ國庫ノ負擔ヲ減額スルヤウニシテ進ミタイト云フコトハ希望イタシタノデアリマスガ、諸般ノ情勢上急激ナル變化ヲ避ケルコトガ適當ナリト云フコトデ、今回提出ノ十五年ヲ十七年ニ變更スルト云フ程度ニナッタノデアリマシテ、私共大藏省側ノ立場ト致シマシテハ、出來ルダケ國庫ノ負擔ヲ減ズルヤウニ希望ハ致シテ居ルノデアリマスガ、諸般ノ情勢、各省トノ交渉ノ結果已ムヲ得ズ斯ウ云フ案ニナッタノデアリマス、然ラバ不徹底ナルガ故ニ、サウ云フ不徹底ナルモノハ止メタラドウカト云フコトモ一ツノ議論ト思ヒマスガ、大藏省ノ立場トシテ考ヘタ場合ニ於テ、私共ハ一方ニ於テ茲ニ御審議ヲ願フテ居リマス改正案ノ中ニ、公務死亡者ノ遺族扶助料ノ増加デアルトカ、傷病年金ノ新設ガアルトカ云フガ如キ恩給ノ負擔ヲ増加スベキ改正ヲ行ハネバナラヌ、而シテ恩給ノ負擔ノ減額スル方ノ改正ハ不徹底ナルガ故ニ棄テルト云フコトニナリマスレバ、結局國庫ノ負擔ヲ増加スルニ止マルト云フコトニナルノデアリマシテ、是ハ今日ノ財政狀態カラ見マシテ甚ダ好シカラヌコトト考ヘマシタ

ノデ、不徹底デアリマシテモ幾分ナリトモ
國庫ノ負擔ヲ減額スル案ハ、之ヲ適當ニ實
行シテ行ク方宜シクハアルマイカト考ヘ
マシテ、此案ノ御審議ヲ願フテ居ル次第デア
リマス

○子爵大河内輝耕君 只今色々御説明ヲ承
リマシタノデスガ、此參考書ニ「恩給額ガ其
騰勢ヲ止メ總テ漸減ニ移ルハ十年ヲ出デザ
ルベシト推定セラル」ト斯ウアリマスガ、
ドウモ減ジテ見タ所デ人數ガ殖エレバ矢張
リソレダケ恩給ガ殖エテ來ルヤウニ思フノ
デスガ、漸増ヲ止メルト云フノハドウ云フ
譯デスカ、是ハ恩給局長カラデ宜シウゴザ
イマスガ、ドウ云フ譯デ増加ガ止ルノデス
カ其コトヲ……

○政府委員(補員詮三君) 恩給ノ近年ニ於
キマスル漸増額ハ、七年間平均イタシマス
ルト、四百萬圓ニ少シ足ラナイ三百五十萬
圓バカリニナッテ居リマス、尤モ昨年ニ於
キマシテハ五百八十萬圓増額イタシテ居リ
マスルシ、本年昭和八年ニ於キマシテハ大
體五百萬圓見當ト云フ風ニ見込デ居リマ
スガ、是ハ滿洲事變、上海事變ノアリマシ
タ爲ニ急激ニ増加イタシテ居ル譯デアリマ
シテ、七年平均イタシマスルト三百五十萬
圓バカリ、大體最近ノ少シ多イヲ考ヘ合

セマシテモ、將來四百萬圓位ノ平均ヲ以テ
増シテ行クト云フ風ニ考ヘラレマスノデ、
從テ一年ニ假リニ四百萬圓ト、ソレカラ人
數ガ殖エルコトニ依ッテ殖エル幾ラカト云
フモノヲ加ヘタ額ダケ即チ四百萬圓少シ餘
分ニ、毎年外ノ方カラ補給ガアリマスルト
云フト、ソレデ恩給總額ハ今日ノ狀態ヲ水
平ニ保ッテ行ケル譯ニナリマスガ、ソコデ増
ス部分ダケノ分ニ致シマシテ四百萬圓カ四
百萬圓少シ餘分ノ所ヲ、何處ニカ財源ヲ求
メマシテ、國庫ノ方ニ入ルコトニナレバ、

ソレデ恩給額ハ今カラ下ナクテモ水平ヲ
保ッテ行ケルト云フコトニナリマス、ソレヨ
リカモ少シ別途ニ入ル所ノ額ガ殖エマスレ
バ、ソレダケハ漸減シテ行ク、斯ウ云フコ
トニナリマス、今日迄ノ此原案ニ於キマス
ル所ノ計算ニ依リマスルト、約十五年先
キニ參リマス、先程主計局長カラ申上
ゲマシタヤウナ金額ガ出デ參リマス、
實質的ニ國庫納金ナドヲ皆加ヘマス、丸
四年後ニハ約五百萬圓位ノ實質的ナ増加ハ
出デ參リマスカラ、サウスレバ今マデノ四
百萬圓チヨット、或ハ四百萬圓程度ノ増額ト
云フノヲ防止シテ、尙ホ幾ラカノ餘裕ヲソ
コニ生ジテ參リマスカラ、ソレガ恩給ノ累
増シテ來タノヲ少シツ、順ニ償却シテ參ル

コトニナリマス、十年後ニト申シマスルノ
ハ、外ニ所謂自然減、今度改正イタサナク
テモ急角度ニ減ッテ行クダラウ、言換ヘレバ
年々四百萬圓位ノ騰勢ヲ取ッテ行クノガ三
百何十萬圓ニ減ルト云フヤウナコトガ考ヘ
ラレル部分ガアリマスルノデ、ソレハ三等

下士ノ恩給ガ減ル、或ハ日露戰爭當時ノ公
務傷病者又ハ其遺族ノ恩給ガ急角度ニ減ッ
テ參リマスカラ、是ハ先程申シマシタ年々
四百萬圓位ノ漸増ヲシテ行クダラウト云フ
見込ノ中ニハ、ソレハ計上シテゴザイマセ
スノデ、ソレヲ別ニ減ル方ニ考ヘ得ルト思
ヒマスカラ、サウ云フモノヲ減ジタナラバ
恐ラクハ十年ソコノ騰勢ガ止マルノデ
ハナイカ、所謂騰勢ト申シマスノハ、溜
マッテ行ク恩給總額ノ其殖エ方ト云フ意味
デゴザイマス、一年々々ノ殖エ方ト云フ意
味デハゴザイマセス、サウ云フ風ニ御了解
願ヒタイト思ヒマス、ソレガ止マルト云フ
コトハ見込ヲ付ケマシタガ、假ニソレハ全
ク見込、今ノ事實ヲ本ニ致シマシタ單純ナ
見込デゴザイマスガ、假ニサウ行カナイト
シテモ、十五年先ニ行キマス、先程主
計局長ガ申上ゲマシタヤウナ譯デ、大體騰
勢ガ止マルト云フコトニ……騰勢ト申シマ
スノハ、増額ノ殖エルト云フコトノ方ガ止

ムト云フコトニナリハシナイカト思ッテ居
リマス
○男爵井上清純君 騰勢ト云フノハ、平年
度ハ、騰勢ガ止マツタ時ヲ云フノデアリマ
スカ

○政府委員(補員詮三君) 騰勢ト云フ言葉
ガ或ハ惡カタノカモ存ジマセス、ソレハ一
年々々ニ増ス額ガト云フ意味デハゴザイマ
セスノデ、増ス額ガト申シマス、又語弊
ガアリマスガ、其毎年々々ノ恩給ノ裁定額ガ
減ル、斯ウ云フ意味デハゴザイマセスノ
デ、差引計算ヲシタ結果殖エテ行ク、ソレ
ヲソコデ騰勢ト申シマシタノデ、言葉ガ或
ハ惡イカモ存ジマセス、毎年ノ裁定額ハサ
ウ減ルトハ思ッテ居リマセス、減ル方ガ出來
テ來マスカラ、是ガ今後更ニ十年モ經チ
マスマデ騰ッテ參リマスレバ、自然的ニモ最
早騰ル總額ガ増シ得ナイト云フ時期ニ達ス
ルト思ッテ居リマスカラ、ソレハ正確ナコト
ハ分リマセヌケレドモ、三四億位迄モ上リ
マシタナラバ、現在ノ狀態デ、假ニ進ンデ
行クトスレバ、或ハ騰勢ハ自然的ニ止マル
カモ知レナイト思ヒマス、サウ云フ場合ニ
ハ約四億位ノ所デハナイカト見込デ居リ
マス、サウ云フ意味ノ騰勢デゴザイマシ
テ、一年々々ノ裁定額其モノノ殖エ方ハ決

シテ、之ヲ改正シマシテモ、サウ急ニ止マル譯デハ無論ゴザイマセヌ、差引計算ノ結果ダケノコトデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 此騰勢ト云フノハ何デセウカ、經常ノ場合ヲ想像シテ居リマスノデ、經常ノ増ガ經常ノ減ト、トシ／＼ニナル、斯ウ云フ意味デゴザイマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) サウ云フコトニナリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレナラ其コトヲ明カニスル爲ニ、各項目ノ數字ヲ擧ゲテ戴キタイ、何デ幾ラ減ルカ、増ハ何ガ増カ、ドウ云フ風ニ増加スルカ、ソレガナイト分リ兼ねマス、意味ガ……

○政府委員(樋貝詮三君) 是ガ其數字、同時ニ又數字ノ由テ來ル何ヲ致シマス、随分大キナモノニナルノデゴザイマスガ、或ル年次ヲ取りマシテ、節ニナルヤウナ所ノ年次ヲ取りマシテ申上ゲレバデアリマ스가、ズット先キ迄ノモノヲ、一々ソレノ出所ヲ申上ゲルト、實ニ大キナモノニナルノデゴザイマス、大キイカラト云ッテ別ニソレヲ避ケタイ積リデゴザイマセヌケレドモ、如何ナモノデゴザイマセウカ、或ル項目又ハ年次ヲ限ッテ、ソレガ幾ラニナルカト云フコトニ願ヘマスレバ、サウ大キイモノデモ

ゴザイマセヌガ、チョット此數字ヲ讀上ゲマスレバ、私ノ手許ニ拔書ガアリマスガ、十五年分ノ所マデ拔書シテゴザイマスガ、非常ニ澤山ノ數字ニナリマス、項目ガ多イノデゴザイマスカラ、チョット讀上ゲルニハ不適當ト思ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 印刷ハ出來マセヌカ

○政府委員(樋貝詮三君) チョット大キ過ギマシテ、印刷ニ隨分暇ガ掛リマスガ

○子爵大河内輝耕君 ソレデハドコカ押ヘテ、大キナ項目ダケデモ仰シヤッタラ、大概概念ハ這入ルダラウト思ヒマス、小サイモノハ除イテシマッテモ分ラウト思ヒマス、著シイモノダケ……此意味ガ分レバソレデ宜イノデスカラ……

○政府委員(樋貝詮三君) 左様デゴザイマスカ

○公爵一條實孝君 私今途中カラ伺ッタノデアリマスガ、折角恩給局長ハ彼處ニ表ヲ御持チニナッテ居ルノデアリマスカラ、ソレハ一日掛ッたら出來ルデヤナイノデスカ、ソレヲ戴イテ置ク方ガ將來ニモ參考ニナッテ宜イデヤナイカト思ヒマス、此問題ハ餘程前カラ要求サレテ居ッタヤウデスカラ、御配リニナル意思ガアルナラバ出來テ居ル筈デ

ス、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(樋貝詮三君) 出來テ居ルベキ筈デゴザイマシタガ、印刷ハマダ出來テ居リマセヌ、ソレデ之ヲ印刷スレバスル譯デゴザイマスガ……

○公爵一條實孝君 其表デセウ

○政府委員(樋貝詮三君) 此表ダケデ全部デハゴザイマセヌデ、是ダケアルノデゴザイマス、實ハドウモ是ガクッ付キマセヌト、此表ハ一體何シタト云フ御尋ネハ直グ來ルト思ヒマシテ、是ハ斯ウ云フ根據デ斯ウ云フ風ニシテ出來タト云フコトヲ同時ニ差上ゲナイト……

○公爵一條實孝君 草薺版ニ刷ッテアルノデハゴザイマセヌカ

○政府委員(樋貝詮三君) サウデハアリマセヌ、是ハ御覽ノ通りニ萬年筆デ一枚シカゴザイマセヌガ、ソレデ十年ナラ十年ノ所デモ、只今子爵ノ御尋ノヤウニ、或ル項目ニ付テ、一年カラ十五年迄讀上ゲテモ宜シウゴザイマスガ、或ハ午後ニデモナリマスレバ、サウ云フノヲ大急ギニシテ一時間バカリデ出來ル部分ヲ持ッテ來テモ宜シウゴザイマス

○公爵一條實孝君 私ハ其程度デ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) サウ願ヒマセウ

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ何デスカ、午後ニ其表ガ出來テカラニ致シマセウカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) ドウデモ宜シウゴザイマス、表ニ關係ナク……

○子爵大河内輝耕君 表ガ出來タラ尙ホ伺フコトニシテ、私ノ質問ノ意味ダケ明カニシテ置キタイノデスカ、年々自然増ガ四百萬圓アル、色ミナ原因カラ來ルノデセウガ、之ニ對シテ年限ヲ延長スルトカ、或ハ國庫ノ納金デモ殖ヤセバ、此四百萬圓ハ減ッテシマフト云フコトハ、容易ニ理解ガ出來ル、所ガ年限延長ノ爲ニ幾ラ減ルノカ、或ハ國庫納金ノ爲ニ幾ラ殖エルノカト云フヤウナコトヲ、スッカリ勘定シテ四百萬圓ニ來ルト云フヤウナ基礎ガナイ、ソコノ點ガ不明ガアル、大體デ宜シウゴザイマスガ、今御説明出來マスマイカ

○政府委員(樋貝詮三君) ソレハ申上ゲマスガ、今度ノ改正案ニ依リマシテ、國庫ノ關係デ減少スル、支出ノ減少スルモノト、ソレカラ國庫ヘノ收入ガ殖エマスモノノ合計ヲ考ヘマス、四年後ニ於キマシテ減少ガ七百萬圓……七百三萬七千圓ト云フモノガ考ヘラレマス、ソレカラ十年後ニ參リマ

シテ、ソレガ八百三十五萬九千圓、十五年
後ニ於キマシテ一千四十五萬二千圓ト云フ
モノガ考ヘラレマス、ソレカラ改正案ニ依
リマシテノ増ノ考ヘラレマスノガ、四年後
ガ百八十一萬四千圓、ソレカラ十年後ガ百
五十萬九千圓、ソレカラ十五年後ガ百十八
萬五千圓ト云フモノガ考ヘラレマス、ソレカ
ラ其兩方ノ差引ノ、計算ラシマス、四年後ニ
於キマシテ、五百二十二萬三千圓ト云フモノ
ガ、財政上ノ輕減ニナリマスシ、ソレカラ十
年後ニ於キマシテ六百八十五萬圓ト云フモノ
ガ丁度差引減ニナル譯デアリマス、ソレカ
ラ十五年後ニ至リマシテ、九百二十六萬七千
圓ト云フモノガ國費ノ輕減ニナルト云フコ
トノ結果ニナル譯デゴザイマス、ソレデ今ノ
此改正案ニ依ル増ガ、四年後ニ於キマスヨ
リカモ、十年或ハ十五年先キヘ行テ減リ
マスト申シマスノハ、今度作リマシタ低位
ノ傷病年金ガ、軍人ニ付キマシテハ、過去
ニ其原因ヲ生ジテ居タ人々ニモヤルト云
フコトニナテ居リマスカラ、從テ日露戰
爭當時ノ所謂一時金癡兵ノ人ガ此年金ヲ
貰テ居ルノガ非常ニ多イノデゴザイマス
カラ、ソレハ段々人數ガ減テ參リマス、ソ
レガ主ナル減原因ニナテ參リマス、例
ヘバ初年度ニ於キマシテ八百八十六萬八千

圓バカリ、初年度ト申シマスノハ恩給法
施行後滿一年ヲ考ヘテ居リマスガ、百八十
六萬八千圓ヲ見込シテ居リマス、四年後ニ
於テハ百六十八萬八千圓、十年後ニ於テハ
百二十三萬一千圓、十五年後ニ於キマシテ
ハ八十七萬七千圓ト云フ順ニ減ル見込ガア
リマスノデ、サウ云フ減リ方ガ考ヘラレテ
居リマスカラ、増ノ方ハ先ニ申上ゲマシタ
ヤウニ、四年後ト十五年後トデハ十五年後
ノ方ガズト増シ方ガ少イト云フコトニナ
リマス、ソレカラ尙ホ其外ニ三等下士官ノ
自然減ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居リマス
ガ、是ハ十五年先ニ參リマシテ、十六萬四
千圓位ニ考ヘテ居リマス、増加恩給ガ……
日露戰爭當時ノ傷病者ノ増加恩給ガドノ位
減ルカト云フコトハ、今ノ計數デハハキ
リト致ス譯ニハ參リマセヌデゴザイマス
ガ、コ、二三年ノ減リ方、二年バカリノ減
リ方ハ著シイ減リ方ヲ致シテ居リマスカラ、
今後ハ更ニ一層年齡ノコトヲ考ヘテ見マス
ト減ルノデヤナイカ、是ハ全ク想像ケデ
アリマス、先程申上ゲマシタ數字ノ中ニハ
是ハ無論今ノ三等下士ノ分モ、日露戰爭當
時ノ傷病者ノ増加恩給ノ分モ、見込シテゴ
ザイマセヌ、ソレヲ拔キマシタノガ先程申
上ゲマシタ數字ニナリマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマス、中
ニハ臨時ノヤウナ減リ方モアリマスシ、中
ニハ制度ノ改正ニ依テ經常的ニ減タモノ
モアリマスガ、年々四百萬圓ツツ殖エテ行
クト云フノハ、是ハ十五年後、平年度ニ
シテモ、其以後ハ年々ノ自然増ヲ免レヌコ
トト思ヒマスガ、サウ承知シテ宜シウゴザ
イマスカ
○政府委員(補員詮三君) 十五年後ニナリ
マス、更ニ其效果ハ多クナテ參ルト思ッ
テ居リマス、今度ノ改正ニ依リマシテノ影
響ガ一層ヨク働イテ行クダラウト思ヒマス
コトハ、此低位ノ傷病年金デアルトカ、或
ハ又戰爭デモアリマスレバ別ノコトデゴザ
イマスガ、滿洲事件ナドガ片付イテ行クト
云フコトニナリマスレバ、事件デ臨時ニ殖
エマシタノハ時ノ經ツニ從テ減テ行クノ
デアリマスカラ、十五年後ニ於キマシテ、
矢張り今日ノ狀態ヲ假ニ將來ニ考ヘテ見マ
スト、十五年後ニ於テハ決シテ又漸増ノ
步調ヲ取ラヌダラウト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマス此四百
萬圓ガ年々増加シテ行クト云フノハ、一體
ドウ云フ所カラ來テ居リマスノデスカ
○政府委員(補員詮三君) 是ハ行政整理、
ソレカラ戰爭ナドヲ考ヘラレマス、四百萬
圓ト申シマスノハ、先程申上ゲマシタヤウ
ニ幾ラカ、所謂四百萬圓ト申シマスノハ裕
リガアルノデアリマスガ、過去七年間ヲ平
均イタシマス、四百萬圓ガチヨット缺ケ
ル數字ガ出テ參リマス、此間ニハ平年モア
レバ、行政整理ヲヤタ年モ入テ居リマス
レバ、昨年ノヤウナ滿洲事件ノヤウナ、戰
爭ノヤウナ年モ入テ居リマス、色ミ込ミニ
致シマシタノガサウ云フ數字ニナテ出テ
參リマス、ソコデマア大體將來モ其邊デ行
クト見テ宜シイノデヤナイカト云フ風ニ考
ヘテ居リマス、大正十二年、十三年ニハ非
常ニアノ當時ニ於テハ殖エテ居リマスケレ
ドモ、アレハ御承知ノ通り、此表ヲ差上ゲ
テアッタカドウカ存ジマセヌガ、大正十二
十三年ノ所ガ著シク殖エテ居リマスノデア
リマスケレドモ、是ハ恩給法改正ト致シマシ
テ六割近クノ増額ヲ致シテ居リマスカラ、全
ク特別ナ事情デ、之ヲチヨット増額ノ平均
ノ中ニ入レルノハ宜クナイト思ヒマシテ拔
キマシタノデゴザイマス
○子爵大河内輝耕君 サウ致シマス最近
ノ、例ヘバ七年度カラ八年度ハ幾ラ増シテ
居リマスカ、豫算デ宜シウゴザイマス
○政府委員(補員詮三君) 七年度カラ八
年度ト申シマス……

○委員長(伯爵濱口直亮君) 七年度ニ比シ

テ八年度ガ幾ラ殖エテ居ルカト云フノデセウ

○政府委員(樋貝詮三君) 豫算デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウデス

○政府委員(藤井真信君) 七年度ハ御承知

ノ通りニ此行政整理ニ依ル増ガ入ッテ居リマシタノデ、七年度ト八年度トノ豫算額ヲ

比較シマス、八年度ノ方ガ百四十萬圓減ジテ居リマス、七年度ハ特殊ノ事情デ臨時ニ膨脹イタシテ居ッタ結果デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマス却テ

減ガ來タヤウナコトガアルノデ、是ハ誠ニ結構ナコトデアルト思ヒマス、最近ノ七年

ハ餘リ長過ギマスガ、五年度以降位ハドンナ風ナ狀況ニナッテ居リマス、ドノ位増シ

テ居リマス、七年度、八年度ハ實蹟デモ豫算デモドナラデモ宜シウゴザイマス

○政府委員(樋貝詮三君) 實蹟ニ付テ申上

ガマス、昭和元年カラデ宜シウゴザイマス

カ、ソレガ丁度七年ニナリマスカラ申上ガマス、昭和元年ガ大正十四年ニ對シマシ

テ、是ハ一時金タル恩給ハ含シテ居リマセヌ、年金ダケノデゴザイマス、ソレガ四百三十一萬九千圓端拾數ハ切捨テマス、ソレ

ダケ昭和元年ハ大正十四年ニ比較イタシマ

シテ殖エテ居リマス、ソレカラ昭和二年ハ二百三十三萬五千圓、ソレカラ昭和三年ハ

二百五十六萬一千圓、昭和四年ハ三百二十四萬圓、昭和五年ハ三百一萬三千圓、ソレ

カラ昭和六年ハ四百四十萬八千圓、昭和七年ハ五百六十九萬九千圓、是ノ外ニ恩給ト

シテ給與イタシマス一時金ガ之アル譯デアリマス

○子爵大河内輝耕君 今ノ増加割合ノ計數ノ中デ、是ガ持ニ行政整理ヲヤッタカ、或ハ事變デモアッタカ云フヤウナ臨時ハ除

キマシテ、ソレノ區別ハ分ッテ居リマセウ

カ、サウ云フ臨時ノモノデ増加シタモノガ是、格段何モ事情ハナイガ、退職者ガ多

カッタ爲ニ殖エタト云フヤウナ區別ハ分リマセウカ

○政府委員(樋貝詮三君) 其數字ガ確カリト分リマセヌコトハ、行政整理ナクシテ

モ、ドノ位罷メタノデアルカト云フコトガ

實ハソコ迄ハッカリ分リマセヌノデ、唯分

リマスコトハ、行政整理ヲヤッタ時ハ、膨ラ

シタ時ハ行政整理ヲ致シマシタトカ、戰爭ヲ致シマシタトカ、其近邊デ膨ラシタ居ルト云フコトダケ分リマス、ソレガ幾ラ膨ラン

スデス、實際ニ於キマシテ……全體トナル

ト行政整理ガアッタカラ其時ニ是ダケ膨ラ

シタト云フコトハ考ヘラレマス、御參

考ノ爲ニ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマスガ、從

來恩給ガ膨ラミマシタノハ、明治四十年ニ

著シク膨ラシタ居リマス、是ハ日露戰爭ノ影響ヲ受ケマシタ、ソレカラ九年十年ニ増

加イタシテ居リマスガ、軍人ノ爲ニ九年ニ

恩給ヲ改正イタシマシタ結果デアリマス、大正十二年ノ増加、是ハ行政整理ト大

正十二年現行恩給法ノ制度、之ニ依リテ是

ハ著シク殖エマシタ、丁度大正十二年ガ

三千六百九十五萬八千九百八十六圓、マ

ア三千七百萬圓ホド殖エタノデアリマ

ス、大正十三年ト十四年ノ行政整理ノ時デ

アリマスガ、此時ニヤハリ殖エテ居リマス、七百萬、九百萬ト其時ハ増額ヲ致シテ

裁定ヲシ、八年ノ恩給増加ト云フヤウナ形

ヲ取ッテ現ハレテ參リマスカラ、從ッテ先程

申上ゲマシタヤウニ、是ガ行政整理ナカリ

シトスルモドノ位退職者ガアラウト云フコ

トハ、大雜把ナ見込ハ付クデアラウト思ヒ

マスケレドモ、正確ニハ無理デハナイカト

思ヒマス、實際ノ狀態カラ見マスルト、大

抵退職シヤウト思ッテ居ルヤウナ、聽テ退

職シナケレバナラスト云フモノガ行政整理

ノ時ニ多ク罷メマスカラ、サウ云フヤウナ

事情ガアリマシテ、ドノ位ノ邊マデ實數ニ

取入レベキカト云フコトハ隨分困難ダト思

ヒマスガ、行政整理ナドノ爲ニ恩給ガ膨脹

スルコトハ過去幾年ノ事情ニ徴シマシテ是

ダケノコトハ分リマス

○子爵大河内輝耕君 今御分リデセウカ、

四十年ハ非常ニ増シタト云フコトハ私存ジ

テ居リマスガ、其前ノ恩給額ハ御分リデゴ

ザイマセウカ、御分リニナッテ居レバ文官、

陸海軍其他ニ分ケテ御示シ願ヒタイ

○政府委員(樋貝詮三君) 分ッテ居リマス、

是ハ今申上ゲタヤウニ、年金ノ分バカリデ

ゴザイマスガ、年末ニ於キマシテ、チヨット

三十九年ノ數字バ茲ニ缺ケテ居リマス、三

十八年四十年ト私ノ持ッテ居ル表ハ飛ンデ

アリマスガ……

○子爵大河内輝耕君 三十八年デ宜シウゴザイマス

○政府委員(補員詮三君) 三十八年デ文官ガ二百萬二千六百九十六圓、ソレカラ陸軍人ガ六百三十一萬一千七百九十四圓、ソレカラ海軍人ガ七十七萬六千三百九十七圓、ソレダケデ、合計イタシマスルト、九百九萬八千八百八十七圓ニナッテ居リマス、デ前年ノ恩給額、三十七年ノ恩給額ニ對シマシテ、六割九分デスカノ増ニナッテ居リマス、四十年ノ額ヲ申シマセウカ

○子爵大河内輝耕君 宜シウゴザイマス、九百萬圓ガ三千七百萬圓増加ニナッタノデスカ、大變ナ増加デ、此額ハソレ程上、テ居ナイヤウニ考ヘマス、一人當リノ單價ハソナニ上、テ居ラナイト思ヒマスガ、是ハ多少上ルトシテモ大部分人員ノ増加グラウト思フ、ソレニシテモ、マサカニ數倍モ文官ガ殖エル譯モナシ、是ハドウ云フ譯デセウカ、非當ニ増加シテ來タノハ……チョット併セテ人員モ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(補員詮三君) 三十八年ノ人員ヲ申上ゲマス、ト、文官ガ一萬四千八百四十一人、ソレカラ陸軍ノ軍人ノ人員ガ九萬六千八百九十七人、海軍軍人ガ八千七百一十一人、合計十二萬四千四百九十九人ト云フコトニ

ナッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 人員ダケデ文官ガ六萬人ニナッテ居リマスカラ、三倍強、四倍ヨリモト上ニナッテ居リマス、是ハソレダケ人員ガ殖エタノデセウカ、現在人員ガソレダケ殖エタノデセウカ、單價モ多少ハ高クナッテ居リマセウガ、大體サウ見テ宜シイノデアリマセウカ、斯ウ云フ風ニ殖エテ來タノハ現在人員ガ御分リデセウカ、三十八年頃ト今ノ狀態ヲ文官、陸軍、海軍ニ分ケテ……

○政府委員(補員詮三君) 現在人員ヲ申上ゲマスガ、恩給ノ方カラノ退職者デ宜シウゴザイマスカ

○子爵大河内輝耕君 サウ云フ意味デハナクシテ官吏ノ現在人員、官吏ガ幾人居ルカ……

○政府委員(補員詮三君) ドウモ現在ノ官吏ノ數ハチョット手許ニ調ベタモノガゴザイマセヌデ……

○子爵大河内輝耕君 サウシマス、ト、大體是ハ人員ノ増加ト見テ宜シウゴザイマセウカ、行政組織ノ擴張ノ爲ニ人間ガ殖エテ、從ッテ恩給モ殖エタ、斯ウ云フヤウナ風ニ見テ宜シウゴザイマセウカ、ソレトモ御研究ニナッタ結果如何デセウカ、其時分カラ見マ

スト、在職年數ハズツ減ッテ居リマセウカ其點ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(補員詮三君) 人員ノ殖エマシタノト、恩給ノ金額ノ算出サレル基礎ニナル所ノ係給ガ當時ヨリ非常ニ増シテ居リマス爲ニ、其關係ノ方ガ寧ロ多ク作用スルモノデナイカト考ヘテ居リマス、兩方作用シテ居ルト思ヒマス、ソレカラ殊ニ其係給ノ増シマシタノハ、例ノ大正八九年アタリノ物價騰貴ニ連レマシテ隨分ト増加シテ居リマス、ソレデ其後ノ恩給ト、殊ニ公務傷病者ニ對スル給與ガ大正十二年ノ時ニ著シク増シマシタ爲ニ、是モ金額ヲ増シテ居ルコトノ一ツノ顯著ナル原因ニナッテ居ルト思ヒマス、サウ云フヤウナノガ三色バカリ原因ニナッテ、今日ノ金額ニ非常ニ膨脹シテ居リマス、無論頭數ガ殖エタト云フコトモ大キナ原因ニナッテ居ルト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ陸軍ノ方ニ伺フノデスカ、便宜恩給局長カラ御答下サッテ少シモ差支アリマセヌ、陸軍ノ給與、恩給ヲ貰ッテ居ル人ガ殊ニ非常ニ増加シテ居ル、是モ倍以上ニナッテ居リマス、恩給額ニ至ッテハ十倍ニナッテ居リマス、是ハ矢張りドウ云フ原因デアリマセウカ、給與ノ増加デスカ、或ハ人員ノ増加デスカ、ドウ云フ點

カラ……人員ノ増加ダケデハ是ダケニハ行カスト思ヒマス、大體給與ガ上ッタモノト見ナケレバナラスト思フガ、大體ソナコトデアリマセヌカ

○政府委員(補員詮三君) 是ハ大正十二年ノ改正ガ、平均ニ致シマシテ約六割國費ノ分ガ増シテ居リマスルガ、當時一番増シマシタノハ増加恩給デゴザイマス、増加恩給ヲ貰フヤウニナリマスル者ニハ普通恩給ヲ伴ッテ參リマスガ、ソレ等ノ人ミノ殊ニ増加恩給ノ増額ハ當時アレハ何倍ニナリマシタカ、多イモノニ付キマシテハ確力七倍、正確ナ數字ハ今チョット調べル邊ガゴザイマセヌガ、約七割位ニナッテ居ッタカト考ヘテ居リマス、一番多ク増シマシタノハ……アノ當時サウ云フヤウナ關係ガ多カッタノト、ソレカラモウ一ツハ下級ノ軍人ノ爲ニ恩給ノ割合ヲ當時一番良ク致シマシタカラ、ソレガ殖エタノト、ソレカラはハ只今ノ御尋ノ範圍外カモ知レマセヌガ、扶助料ノ率ヲ變ヘマシタノデ、扶助料ノ方モ一般ニ是ハ増シテ居リマス、是ハ軍人ダケデハゴザイマセヌ、サウ云フヤウナ譯デ金額ガ非常ニ膨脹シテ居ラウト思ヒマス、尙ホ軍人ニ付キマシテハ人數デ例ノ師團ヲ減ラスト云フ問題モアリマシタガ、アレ等モ影響シ

テ居ルグラウト考ヘマス

○説明員(佐藤爲徳君) 私カラチョット申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) ドウゾ……

○説明員(佐藤爲徳君) 手許ニアリマス表デチョット申上ゲマス、是ハ内閣統計局ニ依ッテ一昨年調査シタモノデアリマスガ、ソ

レハ陸軍デ集録シタモノデアリマスカラ、或ハ集録ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、ソレハ豫メ御諒承ヲ願ヒマス、陸軍軍人ノ

人員ニ付テ申シマス云フト、明治三十五年ニ於キマシテハ三萬六百四十五人ト云フ

人員デアリマシタガ、明治四十年ニ於キマシテハ受給人員十七萬二千四百四十七名ト

ナッテ居リマス、其以後ハ十八萬、十九萬ト行キマシテ、大正十五年ニ於キマシテ二十

萬トナッテ居ルノデアリマス、大體明治四十年以後ニ於テ其曲線ハ上ポッテ居リマセ

ヌ、現在ノ受給人員ハ日露戦争ニ於キマシテ龐大ニ殖エテ居ルモノト考ヘルノデアリ

マス、其人員等モ逐次減少シツツアルト云フコトニ付キマシテハ、先般來恩給局長カ

ラ説明ガアッタ通りデゴザイマス、尙ホ金額ノ關係ヲ見マスト云フト、金額ノ方ハ矢張

リ一般ノ恩給増勢ト陸軍ハ並行シテ漸進ヲシテ居リマス、ソレデ近年ニ於キマシテハ

陸軍々人自體ニ於キマシテハ權利消滅トソ

レカラ新規要求ノ關係ハ、殆ド水平線ヲ以テ、寧ロ下ルヤウナ傾向ガアルノデヤナイ

カト思ハレルヤウニナッテ居リマス、金額ノ増勢ノ原因ニ付キマシテハ、先刻恩給局長

カラ申サレタ通りノ原因デアルト陸軍モ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 陸軍ノ只今ノ御説明デ大體分リマシタガ、海軍ノ方モ是ハ十倍

ドコロデナイ、數十倍グラインニナッテ居ルガ、大變ナモノノヤウニ思ヒマスガ、海軍

ノ受給者モ非常ニ殖エテ居リマス、殆ド比較ニナラナイ位殖エテ居リマス、是ハドウ

云フ譯デゴザイマセウカ、ドチラカラ御答ヘ下サツモ宜シウゴザイマス

○政府委員(樋貝詮三君) 海軍ノ方ガ御出デニナッテ居リマスカラ……

○説明員(多田武雄君) 甚ダ申譯アリマセヌガ、ドノ表ヲ使ッテ御イデニナリマスカ

○子爵大河内輝耕君 伺ヒ違フトイケナイカラハッキリ申上ゲテ置キマスガ、此間伺

タ所デハ、海軍ノ恩給ハ三千萬圓ト伺ッタガ、三十八年ハ七十七萬圓ニナッテ居ル、ソ

レカラ賞テ居ル人員ガ三十八年ガ八千人ニナッテ居ル、ソレカラ恩給局カラ最近ノ昭和六年度現在トシテノ頂戴シタノニ依ル

ト、八萬四千人位ニナッテ居ル、何カ大變ナ

違ヒニナッテ居ルノデスガ、ドコノ加減デセウカ、或ハ私ノ見樣ガ悪ケレバ、ソチラ

ノ御調べノ計數ニ依ッテ御答ヘ下サツモ宜シウゴザイマス

○説明員(多田武雄君) 御答ヲ致シマス、此數字上ノ根據ヲ正確ニハッキリ申上ゲル

コトハ困難カト思ヒマスガ、御手許ニゴザイマス表ハ累計ノ數字デゴザイマシテ、詰

リ其中今後段々死亡等ニ依リマシテ權利消滅イタシマスモノガ相當殖エルグラウト思

ヒマスガ、要スルニ此數字ガマダ飽和點ニ達シテ居ラナイ關係デ、非常ニ急増シテ居

ル譯デアリマス、ソレト別ナ考ヘ方ニナリマスカ知レマセヌガ、年度々々ノ裁定數ヲ

比較シテ戴キマシタナラバ、非常ニ増加スルト云フコトニナッテ居ラスト思フノデア

リマス、三十八年ノ所ト現在ト比較ベテ見マスト云フト、是ハ扶助料ノ裁定モ含ンデ

ノ數字デゴザイマスカラ、海軍軍人ノ三十八年度ニ恩給裁定ニナリマシタ員數ハ約一

千四百人ニナッテ居リマス、ソレカラ昭和五年度シカ表ヲ持ッテ來テ居リマセヌガ、昭和

五年度ノ裁定ハ五千五百人ニナッテ居リマス、此三十八年頃ノ數字ニハ戰時戰公傷病ニ依ル死亡者ノ數モ若干入ッテ居ルカモ知

レマセヌガ、三十九年ニ四千ト云フ數字ニ

ナッテ現ハレテ居リマスノデ、此方ハ今申上ゲマシタ一千四百人ノ方ニハ這入ッテ居

ラナイト思ヒス、詰リ扶助料ノ裁定員數ハ、三十八年ノ只今申上ゲマシタ數字ニハ

餘リ影響シテ居ラスト思ヒマスケレドモ、昭和五年ノ方ノ五千五百ト云フ數字ノ方ニ

ハ大分扶助料ノ裁定モ這入ッテ居ルト思ヒマス、現ニ海軍軍人ノ毎年退職イタシマシ

テ普通恩給ヲ受ケマス者ノ數ハ、約三千人位トナッテ居リマス、員數カラ申シマス、

現在ト明治三十八年頃ト比較ベマスト云フト、倍チョット殖エテ居ルト云フ風ニ御考

ヘヲ願ッテ宜イノデヤナイカト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 其三十八年頃ノ文官ノ方ノ採用人員ハ分ッテ居リマセウカ、今ノ

ト比ベテドノ位ニナッテ居リマスガ、御分リニナラヌデセウカ

○政府委員(樋貝詮三君) 採用人員ト申シマスト、文官トシテノ在官シテ居ル總人員

ノコトデゴザイマスカ

○子爵大河内輝耕君 新ニ採用ニナッタ者ヲ……
○政府委員(樋貝詮三君) チョット今分ッテ居リマセヌガ……
○子爵大河内輝耕君 陸軍ヤ海軍ノ方ハ御

分リデゴザイマセウカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 毎年ノ任官スル人デスカ、初メテ省ヘ……

○子爵大河内輝耕君 陸軍ヤ海軍ニ採用サレル人ノ數デスカ、例ヘバ兵學校トカ士官學校ニ入ル數、下士ノ採用ノ人員トカ云フヤウナモノハ御分リニナリマセウカ

○説明員(多田武雄君) 是ハ陸海軍共ニ編制上ノコトニナリマスルカラシテ、餘リハッ

キリ致シマシタ數字ヲ申上ゲ兼ネマスト思ヒマスガ、海軍ニ付キマシテモ極ク大雜把

ナ數字ヲ申シマスト、年度ニ依ッテモ違ヒマスガ、大體徵兵一萬、志願兵五千ト云

フ見當デ毎年徵集イタシテ居リマス、士官ノ方ハ殊ニ此時局ノ關係モゴザイマスカラ、

只今申上ゲナイ方ガ宜イノデヤナйкаト思ヒマス、ドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○子爵大河内輝耕君 時局ノ關係ハ別ト致シマシテ、是ハ御差支ナイ限リ御答ヲ得ル

コトガ出來レバ宜イノデスカ、海軍兵學校ナリ或ハ士官學校、幼年學校ニ入ッテ居ル

人數ハ是ハ官報デモ始終發表サレテ、ソレハ勘定シテ見レバ分ル等ナンデゴザイマス

ガ、ソレハドンナ數ニナッテ居リマセウカリマセヌデ失禮ナ御答ヲ申上ゲタカ知リマ

セヌガ、從來ノ、過去ノ實蹟ヲ申上ゲテ、宜シケレバ申上ゲタイト思ヒマス、ズット以

前ノ八八艦隊ノ實現ニ海軍ガ努力イタシテ居リマシタ當時ニハ、兵學校ガ生徒三百人

ノ多數ヲ採ッテ居ッタクモゴザイマス、此前後ニ於キマシテハ大體一年百五十人乃至

百二十人ト云フ程度ニ採用シテ居リマシタ、此程度デ宜シウゴザイマセウカ、ドウゾ御諒承ヲ……

○子爵大河内輝耕君 陸軍ノ方ハ伺ヘマセヌデセウカ

○説明員(佐藤爲徳君) 失禮デスケレドモ、チョット數字ハハッキリ覺エマセヌ

デ、後程御答ヘ申上ゲマス

○子爵大河内輝耕君 モウ少シ數字ノコトモ伺ヒタイトデスカ、今表ガ出來テ來マセ

ウカラ、其上デ伺フコトニ致シマシテ、私ハモウ少シ其先ノ内容ノ質問ヲ進メタイト

思ヒマスガ、大藏當局ノ御都合モゴザイマセウカラ、如何デセウカ、外ニ大藏當局ノ

方ニ御質問ノ方ガアレバ、其方ニ御譲リ致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 別ニ無イヤウデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ此内容ヲ少シ質問イタシマスガ今度最低年限ヲ二年延

長サレタト云フヤウニ聞イテ居リマスガ、此二年ニサレタ理由、是ハマア水掛論ミタ

ヤウニナリマスガ、大體ノ御説明デ宜シウゴザイマスガ二年ニサレタ譯ハ何處ニテリ

マスカ、何カ根據ガアリマスカ、ソレカラ又延長ノ爲ニ幾ラ政府ノ金ガ浮イテ來ルコ

トニナリマスカ、併セテ……

○政府委員(樋貝詮三君) 何故二年ダケ延長シタカト云フコトニ付キマシテハ、年數

ヲ延長シタイト云フコトガ、一面ニ於キマシテハ、ソレガ從來或時ノ案ニ於キマシテ

ハ五年ヲ延長スル、從ッテ文官二十年、軍人ニ於キマシテハ十六年、斯ンナコトニナッ

テ居リマスガ、之ヲ長ク五年モ延長イタシマス、下士以下ノ軍人ナドデハ軍人トシ

テ恩給ニ就クコトハ無イト云フ風ナコトモ考ヘラレマスシ、ソレカラ又文官ニ致シマ

シテモ、先日カラ申シマスヤウニ、雇員カラ文官ニナリマスヤウナ人々ニ付キマシテ

ハ、二十年ニモ延長サレマス、文官トシテ恩給ヲ貰ッテ將來安ンズルト云フヤウナ

望ハ、殆ド無クナル譯デアリマス、サウ云フ爲ニ五年ノ延長ハ長過ぎテ困ルト云フコ

トモ考ヘラレル、ソコデソレナラバ三年ニスベキカ、四年ニスベキカト云フト、四年

是モ今申シマシタ困ル事情ハ大差ハナイ、三年ニスルカ二年ニスルカト云フコトガ殘

サレタ問題デアリマスガ、三年ニ致シマシテ、又三年デハドウシテモイケンイト云フ

コトハアリマセヌケレドモガ、今回ノ整理全體ガ既得ノ權利ニハ成ルベク影響ヲ

及ボサナイト云フコトヲ標準ニ致シマシタカラ、二三點ニ於テ影響ヲ及ボシテ居

ル所ハアリマスケレドモ、成ルベク影響ヲ及ボサナイ、假ニ影響ヲ及ボストシテ

モ割合ニ餘裕ノアル所デ影響ヲ及ボシタイ、ソコデ現在職者ト云フヤウナ者ニ國

庫納金、年限延長ト云フヤウナモノノ負擔ヲサセルコトニ致シマシタカラ、其點

モ成ルベク輕クシタイト云フコトモ考ヘタ譯デアリマス、二年三年、何レヲ採擇スベ

キカト云フコトヲ考ヘタナラバ、二年延長位ガ宜イ、ソレナラバ經過ノ規定ヲ置カ

ヌデモ宜シイト云フコトモ考ヘタノデアリマス、若シ三年延長イタシマス、是ハ二

十年ニ近クナリマスルシ、現在職者全部ニ何カ經過ノ規定ヲ以テ救ハナケレバ……年

數ノ計畫通りニ割増ヲシテヤルコトニシナケレバナラスシ、サウスルト十五年トカ二

十年トカ先ヘ行ッテ僅ニ餘裕ノ金額ヲ生ズルト云フヤウナコトニナッテ、結局當分ノ間

ハ全然財政ノ方ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトガ出來ナイノデ、増額ノ方ダケヲ直様ヤツテ行ッテ、減額ノ方ハズツト十五年先ニ行ッテヤラナケレバナラスト云フ譯デ、此時局ニ際シテ、ソレデハ困ルカラ、經過規定ヲ置カヌデ済ムヤウニシタイト云フ、色ミノ事情ヲ考ヘマシテ、ソレデ二年ト云フコトニ原則ヲ置キマシタ、其結果ハ、財政上ノ點ニ付キマシテハ、恩給局が見込ミマシタノハ四年デ、即チ之ヲ施行イタシマシテ四年經チマシタ所ガ十萬一千圓ト云フ金額ガ出ルコトニ考ヘテ居リマス、ソレハ今ノ恩給年限ヲ延長シマシタ影響トシテ、十七年ニ延バシマシテモ、十七年後ニヤル恩給ガ、從來ノ十五年後ニヤル恩給ト同ジ額ヲヤルコトニナリマスカラ、率ヲ百五十分ノ五十ヲ十七年目ノ所ニ盛リマスカラ、ソコデ百五十分ノ二ト云フモノガ減ルノデアリマス、從來十七年デアレバ百五十分ノ五十二ト云フ率デ勘定シマスカラ、其差ガ百五十分ノ二ニナツテ二ダケ減リマスカラ、ソレニ依リ減少ガ、四年目ニ十萬一千圓、十年目ニ十一萬七千圓、ソレカラ十五年經チマシテ、十三萬二千圓ト云フモノヲ見テ居リマス、ソレカラ恩給年限ガ二年延長イタシマシテモ、人ノ生存年齡ハ二年ダケ餘分ニ生

キルト云フコトハ出來ナイコトト考ヘテ居リマスカラ、二年ダケ支給年數ガ減ルト云フコトニ、考ヘテ居ル、其關係カラ生ジマスル減ガ四年末ニ於キマシテ、八十二萬五千圓、十年後ニ於キマシテ九十五萬六千圓、十五年後ニ於キマシテ百八萬二千圓、所ガ是ハ十五年ガ十七年ニナリマシタ爲ニ、二年位デスカラ大部分ノ者ハ……約八分ノ七位ヲ考ヘテ居リマスガ、其者ハ通常十七年ダケ居リマシテ恩給ニナルダラウト思ッテ居リマスガ、或ハ又附則ノ問題ノ經過規定ノ影響ヲ受ケテ、十五年以上過ギタ者ハ、率ハ減ラサレマスケレドモ、普通恩給ニハナツテ行クダラウト思ヒマスガ、其中ノ大部分ト云フモノハ、矢張り依然トシテ一時恩給ヲ貰ッテ退官スル者ガアルダラウト思ヒマス、其爲ニハ四年後ニ於キマシテ國庫ノ支出増加ガ……減デハゴザイマセヌ、増加ガ十九萬六千圓ト云フモノヲ見テ居リマス、ソレガ段々ニ二年バカリデ減ッテ了フ、後ハ一時恩給ガ無クナリマスカラ、減ッテ了フコトニ考ヘテ居リマス、四年後ニ於キマシテハ十九萬六千圓ト云フモノガ却テ之ガ爲ニ、一時恩給ノ爲ニ餘分ニ出ルダラウト云フ金ヲ見込シテ居リマス、ソレカラ十年後ニ於キマシテハ其方ハ無クナリマシ

テ、一時恩給ガ全ク無クナリマスカラ、十萬六千圓ト云フモノハ、國庫ノ收入ノ一時恩給ヲヤラナイデ済ムモノガ出來マス爲ニ、年數ヲ延バシテ行キマシテ、一時恩給ニ轉嫁スル關係ガ全然無クナリマシテ、其方ノ關係カラ浮イテ來ルノガ十萬六千圓、ソレカラ十五年目ニ十二萬五千圓ト云フモノガ考ヘラレルト思ッテ居リマス、初メノ内ハ一時恩給ノ轉嫁ノ爲ニ却テ減ルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 午前ハ是デ休憩イタシマシテ、午後ハ一時三十分カラ開會イタシマス

午後零時一分休憩

午後二時十八分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ引續キマシテ質問ヲ繼續イタシマス

○子爵伊東二郎丸君 此改正案ノ附則ノ一條デアリマスガ、昭和八年十月一日カラ之ヲ施行スルト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハドウシテモ十月一日デナケレバ都合ノ惡イ理由ガ御アリニナルノデスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 是ハ十月一日デナケレバ絕對ニ出來ナイ譯デハ固ヨリゴザイマセヌガ、併シ四月トカ五月トカデハ到底間ニ合ヒマセヌデゴザイマス、色ミナ準

備ヲ致シテ居リマス、其爲ニドウ致シマシテモ八月カ九月、マア九月一日位ナラバ出來ルト思ッテ居リマス、九月カ十月カト云フコトニナルト、唯一月ノコトデスガ、先日モチヨット申上ゲタノデスガ、十月一日ト云フコトニ致シマス、恩給法制定カラ滿十年ニナリマシテ、在職年數トカ加算トカ云フモノノ計算、其他此改正法ガドンナ風ニ適用サレテ行クカト云フ計算ニハ非常ニ便宜デゴザイマシテ、其便宜ガズツト事務的ニ永イ間、是ハ單リ恩給局バカリデアリマセヌ、關係各廳及ビ地方廳ノ關係ニ於キマシテモ、其點ハ想像以上ニ簡便ト申シマセウカ、手數ガ省ケマスノデ、一月位ノコトデアツタナラバ十月一日ニシタ方ガ宜イト云フ點デ、十月一日ニシタイト云フ希望ヲ有ッテ居リマス、一月位早メテ早メラレヌコトハアリマセヌガ、サウ云フ事情ガアリマスカラ……

○子爵伊東二郎丸君 此施行期日……先達デモ井上男爵カラモ御質問ガアツヤウニ、武官ニ付テハ何カ斯ウ都合ガ惡イヤウニ考ヘルノデゴザイマスガ、其點ハ何トカ適當ナ字句ヲ御選ビニナル譯ニハ行カヌモノデアリマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 先日一條公爵カ

ラ其點ニ付テ御質問ガアリマシタノデアリ
マスガ、結局九月一日ニ致シマシテモ同ジ
ヤウナコトニナリ、矢張り陸軍ノ方ハ一番
進級ノ多イノガ七月頃ダト致シマス、ド
ウセ七月前ニハ間ニ合ヒマセヌモノデゴザ
イマスカラ、陸軍ノ方ノ進級ガ濟ンデ直グ
ニヤリ始メルト斯ウ云フコトニナル、主ニ
國庫納金ニ關係スルコトデゴザイマセウケ
レドモ、進級ガ濟ンダ直後カラヤルコトニ
ナリマス、從テ今度陸軍ノ方ノ納金ヲ始メ
ルト云フ時期迄ニ一番期間ガ長イコトニナ
リマス、ソレカラ十二月ヲ越エテヤリマス
ルト、例ヘバ昭和九年ノ一月一日カラ施行
イタシマスルコトトスレバ、是ハ海軍ノ方
ガ進級ガ濟ンデシマツテ、陸軍ノ方ガ良イト
云フコトニナリマシテ、今ノ九月一日トカ
八月一日ニ施行スルト同ジヤウナ結果ニナ
リマス、デ途中ヲ取ルナラバ何時ガ宜イカ
ト云フコトニナリマス、結局ハ十月頃ヲ
取ルカ、或ハ春ノ半バ頃ヲ取ルカ、春ヲ取
リマシテモ、十月ヲ取リマシテモ、陸軍ニ
シテモ、海軍ニシテモ、ドチラノ方ガ早ク
納金時期ニ達スルカト云フコトハ、矢張り
喰違ヒガ生ズル、尙ホモウ一ツニハ出來ル
限り早ク之ヲ施行シタイト云フ考モアリマ
スノデ、來年ノ春ト云フ風ニ持テ行クヨ

リモ、今申シマシタヤウナ事情ヲ加味イタ
シテ考ヘテ見マシテ、十月一日ニ施行スル
ノガ一番適當デアルト云フ譯デ、十月一日
ヲ取リマシタヤウナ譯デアリマス

○男爵井上清純君 今ノ問題ニ關聯シテ此
間モ御伺ヒ致シタノデアリマスケレドモ、
年度ニ依ッテ矢張り同ジヤウニ扱テ戴カナ
ケレバ、公平ヲ失スルヤウナコトガアルカ
ト思ヒマス、ソレデ九年ノ四月一日ト、斯
ウ御決メニナッたらドウデスカ、サウナルト
陸海軍トモ同ジヤウニ、年度ニ於テ權衡ヲ
保タレルト思フ

○政府委員(總員詮三君) サウ致シマス
陸軍ノ方ハ四月ニ行キマシテ七月……アト
三ヶ月バカリ直グ來テシマフ、其點ニ於キ
マシテ海軍ノ十月ニ行ッテ十二月ニ行クノ
ト大差ナイコトニナリマスノデ、結局ドチ
ラニシテモ其邊ハ喰違ヒニナルカト思ッテ
居リマス、ソレカラ又文官ノ方等カラ考ヘ
マス、判任官ノ所デハ四月又ハ三月末ニ
昇級スル者ガ大分アリマス、四月ノ豫算ヲ
見越シテ三月末ニ昇給スルノガ大分アリマ
スカラ、ソレハ納金ガ非常ニ遅レテ行クト
云フコトニナリマス、文官ハ御承知ノバラ
バラ參リマスケレドモ、判任官以下ハ年度
末トカ年末トカ六月トカ云フ時期デアリマ

ス、矢張り文官ノ昇給ガ濟ンデシマツテ、サ
ウシテカラ之ヲ適用スルト云フコトニナリ
マス、サウナルト又武官側ノ古ハ儲カ
ル……儲カルト云フ言葉ハ語弊ガアリマス
ガ、マア儲カルコトニモナリマス、ドウセ
喰違ヒガ生ズルノデアリマスカラ、一般施
行ハ成ルベク早クシタ方ガ宜イト云フコト
ヲ考ヘテ居リマスノデ、今ノ所十月一日ニ
施行ヲ是非イタシタイト考ヘテ居リマス

○男爵井上清純君 今ノ事柄ハ是以上申上
ゲル必要ハアリマセヌケレドモ、年度ト云
フコトヲ矢張り眼中ニ置カレナイト話ガ分
ラヌコトニナル、九年度ニ於テ進級スル者、
十年度ニ進級スル者、ソレガ同ジ待遇ヲ受
ケナケレバナラスト云フノガ私共ノ申上ゲ
ル趣旨ナンデアリマス、ソレカラ此前三載
イタ表ニアリマスルガ、陸海軍省ノ方ニ扶
助金トシテ百八十萬圓ト云フコトガアリマ
スガ、此意味合ガマダ能ク分ラナイノデス
ガ、是ハ本年度ノ分デアリマスカ、是ハド
ウ云フ費用ニ使ハレルノデアリマスカ

○政府委員(總員詮三君) 特別扶助金ノ廢
止トアリマス、只今差上ゲマシタAノ方ノ
特別扶助金ノ廢止ト云フ其分デゴザイマセ
ウカ……特別扶助金ト申シマスノハ、陸海
軍ノ豫算デ昭和七年ノ八月デゴザイマシタ

カカラ給與イタシタ、六十二議會デ豫算ヲ
取りマシテソレカラ給與シタアノ一時金ノ
コトヲ云フ譯デゴザイマス、ソレハ豫算ハ
一時ノ豫算デ、事實ハ其内ノ一部分ハ繼續
的ニ今度ノ傷病年金ト同ジヤウナ立前デ給
與スルモノデゴザイマスカラ、ソレガコチ
ラノ恩給法ノ豫算ニ盛り換ヘマシテ恩給法
ヲ施行スレバコチラノ方ハ削ラレル、其金
デゴザイマス、ソレカラ一般ノハ百八十萬
圓バカリアルノデゴザイマスガ、正確ニ申
シマスト最初ノ年ガ百八十一萬二千圓バカ
リアリマシテ、ソレハ順次減リマスモノデ
スカラ、四年經チマスト百六十萬六千圓ト
云フモノニナリマス

○子爵井上清純君 此陸海軍ノ假定係給デ
アリマスガ、之ヲ矢張り誤解シテ居ル人モ
大分アルヤウデアリマスルカラ、一ツ明確
ニシテ置キタイト思ヒマス、是ハ武官ニ限ッ
テ假定係給ト云フモノヲ設ケラレタモノデ
ゴザイマスカ、先ヅソレカラ伺ヒタイ

○政府委員(總員詮三君) 武官ト云フ言葉
ハ多分軍人ト云フ風ナ意味カト存ジマスガ、
若シソレデアリマスレバ軍人ダケニ認メマ
シタノデゴザイマス

○子爵井上清純君 陸海軍共ニ同様カト思
ヒマスガ、茲ニハ海軍ノ表ヲ戴イテ居ルノ

デアリマスガ、中佐以下ニ於テ假定俸給ト云フモノガ設ケラレ居ルヤウデアリマス、即チ恩給ト云フノハ基準俸給ガアリマシテ、其基準俸給ノ三分ノ一ト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、此軍人ニ限リテハ其基準俸給ヲ別ニ假定サレテ、サウシテ假定俸給ト、斯ウ云ハレテ居ルヤウデ、其俸給額ハ何所カラ計算サレテ出タモノデアリマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 軍人ニ付キマシ

テハ各階等ニ應ジテ恩給額ヲ決メルコトニナリマス譯デアリマスガ、ソレデ現行法ニ於キマシテモ各階等ニ付テ幾ラ幾ラト云フ風ニ恩給ノ附表デ、別表デ其額ヲ決メテアルノデゴザイマス、是ハ大正十二年前ニ於キマシテモ、大正十二年以後ノ現行恩給法ニ於キマシテモ同様デアリマスガ、現行恩給法ノ別表第一號表ト云フノガ出來マシタノハ、中佐以上ノ人ミニ付キマシテハ實際ノ俸給ヲ基礎ニ取りマシテ、サウシテソレニ文官ト同ジ率ヲ適用イタシマシテ、恩給金額ガ出來テ居ルノデアリマス、多少「ラウンド・ナンバー」ニスル爲ニ幾ラカノ増減ハ致シテ居リマスケレドモ、基礎ハサウ云フコトデ出來テ居リマス、從ッテ十一年ノ、即チ最初ニ恩給ニナル時ノ額ハ、其俸給ノ百五十

分ノ五十即チ三分ノ一ト云フモノヲソレニ充テマシテ、爾後一年ヅツ増シマス毎ニ、在職年數一年ヲ増ス毎ニ百五十分ノ一ヅツ増シテ行クト云フ計算ニナッテ居リマス、ソレカラ少佐以下ニ付キマシテハ、恩給金額ヲ出シマスノニ、實際ノ俸給ヲ基礎ニ致シマスルト云フト、現行表ヨリカモ少イ額ガ出テ參リマスノミナラズ、區々ニ金額ガ出テ參リマス、殊ニ大尉邊ニ到リマスルト、大尉モ一等給モアレバ三等給モアルト云フコトデ、下士ニ致シマスルト、陸軍ニ於キマシテハ、營内居住ヲスルモノト、營外居住ヲスルモノトノ間ニ於テ、著シク恩給ガ違ッテ居リマス、又海軍ト陸軍ト違ッテ居ルト云フ所カラ、同ジ准士官ハ准士官、一等下士ニ付テ、即チ陸軍デ申シマス曹長ニ當ルヤウナモノト云フ風ニ同ジニシタイ、サウスルニハドウ云フ金額ヲ設クルノガ宜シイカト云フコトモ考ヘラレル譯デスガ、最低ノ兵、元ノ兵卒デゴザイマスガ、其兵卒ニ付キマシテハ、凡ソ此位ノ金額ト云フコトヲ大正十二年ノ改正ニ當リマシテ、ソレマデ給與シテ居ラタ額ヲ目標ニシテ、相當ノ額ヲ決メルコトニナリマシタ爲ニ、ソコデ其上ノ方ト極ク下ノ方トノ間ハ、各段階ニ應ジテ相當ノ開キヲ持ッテ行クヤウニト云フコトヲ

考ヘテ、サウシテ恩給額ヲ盛ルコトニナリマシタ、デ其時ニ内部デ使ハレマシタノガ、所謂假定俸給デ、俸給ヲ幾ラト見ルト云フコトニ一應致シマシテ、サウシテソレノ三分ノ一額ニ當ルモノト考ヘラレルノヲ、十一年額ノ所ニズット上カラ下マデ、少佐カラ二等兵ノ、當時ハ二等卒ト申シテ居リマシタガ、其處マデ盛リマシタ、同時ニ海軍ノ、確カ五等兵デゴザイマスガ、一番下ノ階級ガゴザイマシタガ、其分ハ削ッテ了ヒマシテ、ソレハ上ノ方ニ打込ムコトニ致シマシテ、現行ノ恩給法ガ出來テ居ルヤウナ次第デ、今回ノ所謂假定俸給ハ其十一年額ヲソレハ三倍シテ、言換ヘレバ現在ノ十一年額ヲ算出イタシマスル時ニ使ハレタ想像上ノ基礎ノ金額ニサウ云フモノヲ還元イタシマシテ、ソレヲ今度第一表、別表ノ第一號ト云フモノニソレヲ掲ゲルコトニ致シマシタ譯デ、實質ニ於キマシテハ、現行ノ恩給法ト少シモ殖エモ減リモ致シマセヌ、デ今回ハサウ云フ現行ノ恩給法ニアルヤウナ表ニ致シマセナカタノハ、罷メル時ノ恩給ノ基礎俸給ト云フモノガ、退職前一年ノ俸給ヲ基礎ニスルト云フコトニナリマシテ、之ヲ軍人ニ適用イタシマスルト、罷メル前一年間ノ階等ニ應ジテ恩給ヲ給與スルト、

途中デ階等ガ進行シテ居レバ……昇給シテ居リマスルト、其階等ヲ平均シタト云フト語弊ガアリマスガ、兩方ノ階等ニ應ジテソレニ恰モ其階等ニ俸給ガ付イテ居ルガ如クニシテ、恩給金額ヲ文官ナドト同ジヤウナ算出方法デ算出シテ行キタイ、サウ云フ關係ガアリマスモノデスカラ、ソコデ一枚ノ表ニ拵ヘルコトガ出來マセヌノデ、假定俸給ダケヲ作りマシテ、サウシテ其金額ヲ算出シテ行キタイ、全ク金額算出ノ便利ト云フ方面ニ其理由ガアリマシテ、今回ノヤウナ表ニナリマシタ、實質ニ於キマシテハ、現行恩給法ノ第一號表ト變リマセヌ、唯年數ガ、即チ最短恩給年限ガ、十一年ガ十三年ニナリ又十二年ニナリ致シマシタダケノズリ方ハアリマスケレドモ、其他ノ點ニ付キマシテハ現行ノ恩給法ト變ル趣旨デハアリマセヌ

○委員長(伯爵溝口直亮君) モウ御質問モ

ゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌケレバ大河内君ニ一條君ガマダ質問ガアルト云フコトデスカラ、外ノ委員會へ行ッテ居ラレマスカラ、三時マデ休憩イタシマス、デハ暫ク御休ミ願ヒマス

午後二時四十一分休憩

午後三時九分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ開會
イタシマス、御質問ガゴザイマシタラド
ウゾ……

○公爵一條實孝君 私ハ此際一ツ御諮リヲ
願ヒタイト思フノデスガ、先ヅ逐條ノ審議
ニ不十分ナ所モアルカ無イカハ存ジマセヌ
ガ、可ナリ長イ日子御質問ヲ願フタノデア
リマスカラ、先ヅ大體此邊デ御質疑ハ終
タモノト御認メ下サツテ、扱ヒニ付テ、モウ
一遍隔意ナイ皆サンノ御懇談ヲ願フタ方ガ、
審議上非常ニ、好都合ノ様ニ思フノデス
ガ……

○委員長(伯爵溝口直亮君) 如何デゴザイ
マス、一條公爵ノ質疑ハ是デ打切、タラド
ウカト云フ御發議ガアリマシタガ、御異議
ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ質問
ハ是デ打切ルコトニ致シマシテ、實ハ成ル
ベク皆出テ隔意ナイ御話ヲシタイノデス、
研究會デ部會ガアリマシテ、モウ一遍私出
ナケレバナラヌノデ、御差支ナケレバ、明
日午前十時カラ隔意ナイ御懇談ヲ致シタイ
ト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ明日
中ニ續イテ、若シ必要ガゴザイマセバ、討
議ニ入りマシテ、討議ノ順序ト致シマシ
テ、今私ノ考ヘテ居リマスノデハ、之ヲ否
決スベキカ、可決スベキカラ決シマシテ、
其後ニ修正ニ付テノ御意見ヲ伺ヒマシ、
サウシテ最後ニ決定ヲ致ス、若シ總テノ御
方ガ一致シテ下サイマスレバ、ソレハ總テ
省キマシテモ宜シウゴザイマスカラ、其積
リデ居リマスカラ、出來マセバ、成ルベク
明日中ニデモ總テガ決定スレバ宜シウゴザ
イマス、或ハ明後日午前ニデモ決定スルヤ
ウニナルカモ知レマセスカ、其心組デ居リ
マスガ、ドウカサウ願ヒマス、デハ是デ散
會致シマス

午後三時十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 男爵井上 清純君
委員

公爵一條 實孝君
子爵大河内輝耕君
子爵伊東二郎丸君
佐藤 三吉君
眞野 文二君
織田 萬君

政府委員

內閣恩給局長 樋貝 詮三君

大藏省主計局長 藤井 眞信君

説明員

陸軍歩兵少佐 佐藤 爲徳君

海軍中佐 多田 武雄君

塚本 清治君

男爵淺田 良逸君

男爵渡邊 修二君

今井 五介君

森 平兵衛君

昭和八年三月二十三日印刷

昭和八年三月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局